

株式会社横浜アリーナ

第34期 事業報告

2018年（平成30年） 4月 1日から
2019年（平成31年） 3月31日まで

— 目次 —

- 1) 事業報告
- 2) イベント分野別稼働実績

事業報告

2018年4月 1日から

2019年3月31日まで

株式会社横浜アリーナ

事業の経過および成果

2018年度の業績につきましては、稼働日数は334日、稼働率は91.5%となりました。当期の来場者数は、約237万人となり、1989年4月の開業からの来場者数は累計で約4,975万人に達しました。

そして施設の安全安心に向けた取り組みを継続すると同時に、PSI(Positive and Speedy with Integrity)プロジェクトを中心に、2015年度に策定したコーポレートメッセージ「その思い、つながる。」をはじめとする企業理念・ミッション等の浸透策・アクティブな企業風土の実現に向けた取り組みや、広報活動、および地域に根差した活動を、前期に引き続き実施してまいりました。

また、2019年4月に開業30周年を迎えるに際し、記念事業を各ステークホルダーに感謝の気持ちを伝えると共に、「ブランド力」のPRや「チャレンジ」の機会として捉え、企画・準備を全社一丸となって進めてまいりました。

経営成績につきましては、売上高が2,811百万円(前期2,733百万円、対前期2.9%増)、売上原価は1,026百万円(前期948百万円、対前期8.2%増)、販売費及び一般管理費は338百万円(前期349百万円、対前期3.1%減)となりました。

これらにより当期の損益は、営業利益1,446百万円(前期1,435百万円、対前期0.8%増)を計上し、経常利益は1,472百万円(前期1,452百万円、対前期1.4%増)、当期純利益1,020百万円(前期1,011百万円、対前期0.9%増)となり、開業以来、過去最高益を達成しました。

以上

2018年4～2019年3月 イベント分野別稼働実績

2018年度 実績		ショー コンサート	集会 式典	展示 物販	スポーツ	合計	稼働率 (%)
2018年4月 }	件数	79	13	5	8	105	91.5%
	日数	257	33	15	29	334	
2019年3月	本番日	160	15	10	15	200	
	構成比	76.9%	9.9%	4.5%	8.7%	100.0%	

(参考)

対前年 同時期 増減数	件数	△ 4	△ 8	△ 1	6	△ 7	2016年4月 } 2017年3月 稼働率	
	日数	△ 5	△ 22	△ 3	27	△ 3		-0.8%
	本番日	4	△ 10	△ 2	13	5		
	構成比	-0.8%	-6.4%	-0.8%	8.1%	0.0%		
2017年4月 } 2018年3月	件数	83	21	6	2	112	69.0% (注)	
	日数	262	55	18	2	337		92.3%
	本番日	156	25	12	2	195		
	構成比	77.7%	16.3%	5.3%	0.6%	100.0%		

(注) 2016年4月～6月までは大規模改修工事に伴う87日の休館を含み、大規模改修工事に伴う休館日数を除外した場合は、稼働率90.6%となります。